(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 24日

熊本市 市長

大西 一史 殿

提出者 タマホーム株式会社 熊本支店

住 所 熊本県熊本市南区御幸笛田 2丁目16-48

氏 名 支店長 福田 俊介

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 096-378-7555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

	事業場の名称				称		タマホーム株式会社 熊本支店			
	事	業 場	;のj	所有	E地		熊本県熊本市南区御幸笛田2丁目16-48			
	計	画	i ‡	期	間		2023 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日			
当該	亥事:	業場	にお	3617	て現り	こ行	- テっている事業に関する事項			
	1	事	業	の	種	類	06 総合建設業			
	2	事	業	の	規	模	2,857,559,000 円			
	3	従	業	É	員	数	56名			
	4	産 氵	業 厚の夕	笔 棄	毛 物 のコ		汚泥→乾燥→焼却→埋立 廃プラスチック類→破砕→原燃料 紙くず→破砕→破砕→ 原燃料 木くず→破砕→燃料チップ・ボード、原燃料 金属くず→破砕・切断→再生原料 ガラス・陶器くず→破砕→再生砕石→埋立 がれき類→破砕(焼却)→再生路盤材(原燃料) 石膏ボード→破砕→石膏・製紙原料			

(日本産業規格 A列4番)

産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
	(管理体制図) 別紙管理体制図のとおり							
	加州自在仲间囚 V7(_ 43 %						
産業	 	制に関する事項						
		【前年度(20	23 年	度)実績	煮 】			
		産業廃棄物の種	重類	ガラス・[陶磁器くず	廃プラスチ	ック	
		排 出	量	36. 7	72 t	37. 01	t	
	①現状	(これまでに実施し・梱包材や養生材を・配管類のユニット・発生抑制に関する	を削減 ト化					
		【目標】						
		産業廃棄物の種	重類	ガラス・	陶磁器くず	廃プラスチ	ック	
		排出	量	35.	6 t	35. 9	t	
	②計画	(今後実施する予定 ・発生抑制のための ・工法の改善検討 ・梱包材の簡素化			夫			
産業	美廃棄物の分別に関	する事項						
	①現状	(分別している産業・がれき類(コンク・石膏ボードを分別	カリー			関する取組)		
	②計画	(今後分別する予定 ・上記に加え、管理 別を実施予定 ・分別に関する情報	里型処					

自ら	っ行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項	у щ /	
		【前年度(2023	年度) 実績】	
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した)	取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の)	L	
自身	 	 中間処理に関する事項		
			年度) 実績】	
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
		(これまでに実施した)	取組)	
		I be less 1		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
		(今後実施する予定の)	取組)	

自己	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
	【前年度 (2023 年度) 実績】						
		産業廃棄物の種類 ガラス・陶磁器くず 廃プラスチック					
	_	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量					
	①現状	(これまでに実施した取組)					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類 ガラス・陶磁器くず 廃プラスチック					
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う					
	②計画	(今後実施する予定の取組)					
産業	美廃棄物の処理の委	託に関する事項					
		【前年度 (2023年度)実績】					
		産業廃棄物の種類 ガラス・陶磁器くず 廃プラスチック					
		全 処 理 委 託 量 36.72 t 37.01 t					
		優良認定処理業者への 処理 委託 量 0.2 t 5.0 t					
		再生利用業者への 処理委託量 11.63 t 27.15 t					
	①現状	認定熱回収業者への 処理 委託量 0 t 0 t					
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量					
		(これまでに実施した取組)					
		・梱包材や養生材を削減					
		・配管類のユニット化					
		・配管類のユニット化					
		・配管類のユニット化					

	【目標】		
	産業廃棄物の種類ガラ	ス・陶磁器くず	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	35.6 t	35. 9 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1.8 t	1.8 t
	再生利用業者への 処理委託量	14.8 t	29. 9 t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・梱包材や養生材を削減 ・配管類のユニット化 ・発生抑制に関する情報収集		
※事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における 元 請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種 に 応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了する までの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入する こ
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら 中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自 ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入する こと。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託 量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受け た者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

産業	検廃棄物の処理に係	る管理体	は制に関	する事項				
	(管理体制図)							
	別紙管理体制図の	とおり						
産業	養廃棄物の排出の抑	制に関す	「る事項					
		【前年》	度 (2023 年	度)実績】			
		産業廃	逐棄物 @	の種類	金属くず		紙くず	
		排	出	量	3. 77	t	12. 44	t
	①現状	(これまでに実施した取組)						
		・梱包材や養生材を削減						
		· 木材(のプレカ	ット化				
		* 発生	抑制に関	する情報に	∀集			
		,,,,,	1 1111111 - 120					
		【目標】						
		産業廃	逐棄物 @	の種類	金属くず		紙くず	
		排	出	量	3. 7	t	12. 1	t
	②計画	(今後	実施する	予定の取締	狙)			
					方法の工夫			
			の改善検 材の簡素					
		111111111111111111111111111111111111111	1 4 2 HI 2 N	. L				
産業	養廃棄物の分別に関	する事項	頁					
		(分別)	している	産業廃棄	勿の種類及び分	別に関っ	する取組)	
	①現 状				ト塊)、木材を	分別		
		・石膏>	ボードを	·分別				
		(今後分	·別する ⁻	予定の産業	廃棄物の種類	及び分別	に関する取組)	
	②計画			管理型処	分産業廃棄物と	安定型处	心分産業廃棄物	に分
		別を実施を実施している。		情報収集				
	l	<u> </u>	に因りる	旧拟以来				

自	っ行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項		
		【前年度(2023 年	度)実績】	
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取締	且)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
		自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取締	且)	
自身	っ行う産業廃棄物の	中間処理に関する事項		
		【前年度(2023 年	度)実績】	
		産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
		(これまでに実施した取締	且)	
		 【目標】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	 紙くず
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
		住 来 焼 来 物 り 里 自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取約	日)	
			 /	
	1			

自身	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
		【前年度(2023 年)	度)実績】					
		産業廃棄物の種類	金属くず		紙くず			
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t		t		
	①現状	(これまでに実施した取組	且)					
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	金属くず		紙くず			
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t		t		
	②計画	(今後実施する予定の取組	且)					
産業	業廃棄物の処理の委 「							
		【前年度 (2023 年)	度)実績】					
		産業廃棄物の種類	金属くず		紙くず			
		全処理委託量	3. 77	t	12. 4	t		
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.6	t	0.8	t		
		再生利用業者への 処理 委託 量	3. 77	t	7.89	t		
	①現状	認定熱回収業者への処理 委託 量	0	t	0	t		
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	0	t	0	t		
		(これまでに実施した取制	且)					

		ши/		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	金属くず		紙くず
	全 処 理 委 託 量	3. 7	t	12. 1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.2	t	0.6 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3. 7	t	8.9 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0	t	0.0 t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	0.0	t	0.0 t
	(今後実施する予定の取			
※事務処理欄				

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における 元 請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種 に 応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了する までの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入する こ
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら 中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自 ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入する こと。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託 量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受け た者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

産業	検廃棄物の処理に係	る管理体制	制に関する事	項				
	(管理体制図)							
	別紙管理体制図のと	こおり						
産業	 	制に関する	る事項					
		【前年度	= (2023	3 年度)	実績】			
		産業廃	棄物の種	類	木くず		石膏ボード	
		排	出 :	量	33. 27	t	24. 04	t
	①現状	(これま	でに実施した	こ取組)				
		・梱包材や養生材を削減						
)プレカットイ :材のプレカ ゥ					
			別に関する性					
		【目標】						
		産業廃	棄物の種	類	木くず		石膏ボード	
		排	出	量	32. 3	t	23. 3	t
	②計画	(今後実	施する予定の	つ取組)				
		・現状維	持					
産業	- 美廃棄物の分別に関 ⁻	する事項						
		(分別し	ている産業層	産棄物の	種類及び分	別に関	 する取組)	
	①現状		類(コンク)				,	
			ードを分別、					
		(A 30 N F	コナフマウェ	소유다	5 14 15 15 15 15	ロッドハロ	リア明ナッチがい	
	0717						」に関する取組)	Voil
	②計画	・上記に を実施予		已処分産	来廃業物と	女正型	処分産業廃棄物に	分別
			~ :関する情報』	又集				

自多	っ行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項	ш,	
		【前年度(2023 年	F度)実績 】	_
		産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取	組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取	組)	
自身	1 5行う産業廃棄物の	 中間処理に関する事項		
		【前年度(2023 年	F度) 実績 】	
		産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 乗 物 の 量	t	t
		(これまでに実施した取	組)	
		【目標】		
				ア草ギート
		産業廃棄物の種類	木くず 	石膏ボード
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取	組)	

(第4面) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
目ら行り産業廃棄						
		度) 実績】	 石膏ボード			
	産業廃棄物の種類	A \ 9	石質が一ト			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った	t	t			
①現状	産業廃棄物の量					
		,				
	【目標】					
	産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う	t	t			
	産業廃棄物の量	· ·	t			
②計画	(今後実施する予定の取組	且)				
産業廃棄物の処理	の委託に関する事項	应\				
	【前年度(2023 年	度)実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード			
	全 処 理 委 託 量	33. 27 t	24. 0 t			
	優良認定処理業者への	10.1	2.0			
	処 理 委 託 量	12. 1 t	3. 0 t			
	再生利用業者への	33. 27 t	16. 71 t			
	処 理 委 託 量					
①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t			
	処理 要託量 (これまでに実施した取約	<u> </u>				
	・梱包材や養生材を削減	ш,				
	・木材のプレカット化	le.				
	・内装枠材のプレカット(・発生抑制に関する情報)					
ĺ						

	(知)	/ш/	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード
	全 処 理 委 託 量	32. 3 t	23.3 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1.6 t	1.2 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	32. 3 t	18.5 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取・現状維持	× 称 土 <i>)</i>	
※事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元 請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に 応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業	美廃棄物の処理に係.	る管理体制	制に関す	る事項					
	(管理体制図)								
	別紙管理体制図のと	こおり							
産業	L 	<u></u> 制に関す	 る事項						
		【前年度	Ę (2023	年度)	 実績】			
		産業廃	棄物の	種類		建設汚泥		安定型混廃	
		排	出	量		0	t	0. 1	t
	①現状	(これま	 :でに実加	世した耳	文組)		1		
	心先 孙		制に関す						
		【目標】							
		産業廃	棄物の	種類		建設汚泥		安定型混廃	
		排	出	量		0	t	0. 1	t
	②計画	(今後実	 延するう	予定の耳	文組)				
			前制に関す						
		・発生抑	制のため	りの調達	幸 方法ℓ	の工夫			
産美	英廃棄物の分別に関	する事項							
		(分別し	ている産	E業廃 第	医物の種	重類及び分別	川に関	する取組)	
	①現状	管理型如	1分産業原	軽棄物 と	と安定型	型処分産業層	蓬棄物	に分別を実施	
		(今後分)	<u></u> 別する予	定の産	業廃棄	物の種類及	び分別	川に関する取組)	
	②計画	・上記に	ニ加え分別	川に関う	よる情幸	股収集			

自	っ行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項	,	
		【前年度(2023 年月	度) 実績】	
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	安定型混廃
		自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	安定型混廃
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組)	
自身	っ行う産業廃棄物の	中間処理に関する事項		
		【前年度(2023 年月	度)実績】 	
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	安定型混廃
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組)	
		 【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	安定型混廃
		自ら熱回収を行う	t	t
		産業廃棄物の量	-	-
	②計画	産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組	.)	

白ら行う産業成革制			
日り117座未廃来作		度)実績】	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	安定型混廃
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
①現状	(これまでに実施した取組	H)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	安定型混廃
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
②計画	(今後実施する予定の取組	E)	
産業廃棄物の処理の	D委託に関する事項		
	【前年度(2023 年	度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	安定型混廃
	全 処 理 委 託 量	0.0 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t
①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組・発生抑制に関する情報収	又集	
	・発生抑制のための調達力	はの工夫	

	【目标	票】		(213 6	, щ,			
	産業	廃棄	物の	種類	建設汚		安定型混	廃
	全 处	1 理	委	託 量	0.0	t	0.1	t
	優処		処理業 委	者への 託 量	0.0	t	0.0	t
				皆への 託 量	0.0	t	0.0	t
	認如			者への 託 量	0.0	t	0.0	t
②計画		回収を	行う業	·以外の 者への 託 量	0.0	t	0.0	t
	(今後現状)		する予	予定の耳	文組)			
※事務処理欄								

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元 請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に 応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業	美廃棄物の処理に係.	る管理体制	制に関す	る事項				
	(管理体制図)							
	別紙管理体制図のと	<u>:</u> おり						
産業 	芝廃棄物の排出の抑 節	制に関する	る事項					
		【前年度	£ (2023	年度)実績】			
		産業廃	棄物の	種類	管理型混图		がれき類	
		排	出	量	31. 28	t	8. 4	t
	①現状	(これま	でに実施	した取	双組)	Į.		
	1 9 t 1 / 1	・発生抑	前制に関す	る情報	及収集			
		・発生抑	前制のため	の調達	を方法の工夫			
		【目標】						
		産業廃	棄物の	種類	管理型混图		がれき類	
		排	出	量	30. 3	t	8. 1	t
	②計画	(今後集	実施する予	定の取	双組)	•		
		現状維持	Ť					
産業	美廃棄物の分別に関	する事項						
		(分別し	ている産	業廃棄	美物の種類及び 分	分別に関す	トる取組)	
	①現状	管理型如	1分産業廃	悪物と	安定型処分産業	美廃棄物!	こ分別を実施	
		(今後分)	 別する予:	定の産	 業廃棄物の種類	及び分別	 に関する取組)	
	②計画				る情報収集			
		<u> </u>						

r	第3面	1)	
自ら行う産業廃棄物	物の再生利用に関する事項 		
	【前年度(2023 年	度)実績】	
	産業廃棄物の種類	管理型混廃	がれき類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
①現状	(これまでに実施した取組	且)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		 がれき類
	自ら再生利用を行う	t	t
 ②計画	産業廃棄物の量		
911			
自ら行う産業廃棄物	かの中間処理に関する事項		
	【前年度(2023 年	度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	管理型混廃	がれき類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組	E)	
	【目標】	ī	
	産業廃棄物の種類	管理型混廃	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組	E)	

自ら行う産業成業	(第4 <u>0</u> 『第40 『第40 『第40 『第40 『第40 『第40 『第40 『第40			
り行う産業廃業		度)実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混廃	がれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t		t
①現状	(これまでに実施した取締	且)		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	管理型混廃	がれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t		t
②計画	(今後実施する予定の取組	且)		
産業廃棄物の処理	の委託に関する事項			
	【前年度(2023 年	度)実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混廃	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	31. 28 t	8. 4	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5.3 t	7. 5	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	25. 1 t	0. 7	1
①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0	t
	(これまでに実施した取締	且)		
	・発生抑制に関する情報	又集		
	- ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	5法の工夫		
	・発生抑制のための調達ス			
	・発生抑制のための調達)			
	・発生抑制のための調達/	, in		
	・発生抑制のための調達/	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		

r r	_					/14 -	/ш/				
	[目標】									
	産	業原	棄	物(7) 種	類	管	理型涯	東	がれき類	
	全	処	理	委	託	量	;	30. 3	t	8. 1	t
		優良処		処理 委	業者~ 託	/ 量		1.5	t	0.4	t
					者へ 託		:	27. 3	t	1.4	t
		認定処				への 量		0.0	t	0.0	t
②計画					者以夕 業者~ 託			0.0	t	0.0	t
		今後 大維		する	予定	の耳	文組)				
※事務処理欄											

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元 請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に 応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業	養廃棄物の処理に係	る管理体	制に関す	る事項					
	(管理体制図)								
	別紙管理体制図のと	こおり							
産業	養廃棄物の排出の抑	制に関す	る事項						
		【前年度	度 (2023	年度)	実績】			
		産業廃	棄物の	種類		繊維くず		コンクリート	いがら
		排	出	量		0.0	t	0.0	t
	①現状		までに実力						
			オや養生れ Dプレカ:		戓				
		•配管類	頁のユニ	ット化					
		・発生担	印制に関う	する情報	限収集				
		【目標】							
		産業廃	棄物の	種 類		繊維くず		コンクリート	から
		排	出	量		0.0	t	0.0	t
	②計画		実施する ⁻						
			印制のたる り改善検討		幸方法(の工夫			
			オの簡素						
産当	L 養廃棄物の分別に関 [*]	<u> </u> よろ事項							
				産業廃棄	医物の利	<u></u> 重類及び分別	引に関	 する取組)	
	①現状		こよる分別		10 170 - 1	11,00,00 0 0 0,00	3 TT - 10G) (((((((((((((((((((
		(今後分	別する予	定の産	業廃棄	物の種類及	び分別		ı
	②計画	現状維持	寺						

自	う行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項		
		【前年度(2023 年月	度) 実績】	
		産業廃棄物の種類	繊維くず	コンクリートがら
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	繊維くず	コンクリートがら
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組)	
自	5行う産業廃棄物の	中間処理に関する事項		
		【前年度 (2023 年度) 3	実績 】	
		産業廃棄物の種類	繊維くず	コンクリートがら
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 乗 物 の 量	t	t
		(これまでに実施した取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	繊維くず	コンクリートがら
		自ら熱回収を行う	t	t
		産業廃棄物の量自ら中間処理により減量する		-
	②計画	産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組))	
1				

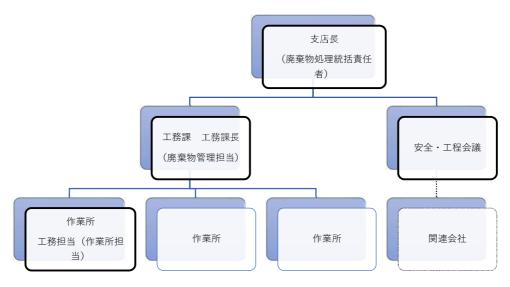
	物の埋立処分又は海洋投入処分に	7 関			
りロノ座未洗末	【前年度(2023年)				
	産業廃棄物の種類	繊維くず		コンクリート	がら
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t		t
①現状	(これまでに実施した取組)	<u> </u>		
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	繊維くず		コンクリート	がら
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t		t
②計画	(今後実施する予定の取組)	· ·		
米克苏州の田田					
議業税状物の処理 	!の委託に関する事項 【前任度 (2023 年)	· 宇結】			
業廃棄物の処理	2の委託に関する事項 【前年度 (2023 年) 産業廃棄物の種類	度)実績】 繊維くず		コンクリート	がら
業廃業物の処 理	【前年度(2023 年)		t	コンクリート	
(未発来物の処理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【前年度 (2023 年) 産業廃棄物の種類	繊維くず	t t		
条廃薬物の処理	【前年度 (2023 年) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への	繊維くず		0.0	
①現状	【前年度 (2023 年) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への	繊維くず 0.0 0.0	t	0.0	1
	【前年度 (2023 年) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への	繊維くず 0.0 0.0 0.0	t	0. 0	1 1
	【前年度(2023年) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量	繊維くず 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	t t	0. 0 0. 0 0. 0	1 1
	【前年度(2023年) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託 理委託 再生利用業者への量 認定熱回収業者に量 認定熱回収業者以外のの拠理委託量 認定熱回収を行う業者への処理委託量	繊維くず 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	t t	0. 0 0. 0 0. 0	t t
	【前年度(2023年) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託 理委託 再生利用業者への量 認定熱回収業者に量 認定熱回収業者以外のの拠理委託量 認定熱回収を行う業者への処理委託量	繊維くず 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	t t	0. 0 0. 0 0. 0	1 1
	【前年度(2023年) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託 理委託 再生利用業者への量 認定熱回収業者に量 認定熱回収業者以外のの拠理委託量 認定熱回収を行う業者への処理委託量	繊維くず 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	t t	0. 0 0. 0 0. 0	がら t t

	【目標】	, ш,			
	産業廃棄物の種類	繊維くず	コンクリートがら		
	全 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t		
	再生利用業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t		
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t		
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	0.0 t	0.0 t		
	(今後実施する予定の取 現状維持	文組)			
※事務処理欄					

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元 請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に 応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

	4-17 	I-c C AK I	Trial - 5			1/2 A					
	統括責任者	所 属:熊本 支店	職・氏名 :		福田	俊介					
	廃棄物担当	組織名:熊本 支店工務課	組織人数:8人	<u> </u>							
	支店長	〇廃棄物処理方針									
	(廃棄物処理統括責任者)	○廃棄物処理に関する各種事項の決定	<u>-</u>								
		○廃棄物処理に関する各種事項の承認),]								
		○廃棄物処理計画の管理									
		○委託契約の締結管理									
	工程安全委員会	〇 廃棄物処理に関する検討									
		廃棄物の発生抑制、再生処理、中間	99.00世、滴下処理	の推進、	計画的2	な廃棄物					
		の管理運営を行う上で必要な事項	3,, , <u></u> ,		., <u></u>	0.000000000					
	工務責任者	 ○廃棄物処理計画の作成									
役	(廃棄物管理担当)		S≣d								
1文	(光米物百年12日)	○ ○ ○									
		○煙菜焼菜物透達110kの煙料 * 110 le ○処理業者、再生利用業者の調査、選									
割		○処理采首、舟土利用采首の調査、度 ○委託契約の締結	に次し自注								
П,		○安山天州の州和 ○産業廃棄物管理票の交付・管理									
		0 / 2 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1									
		○監督官庁への各種報告	ż								
		〇社員、関連会社に対する教育、啓発	3								
		○その他関係する事項									
	//- \\\/.→r										
	作業所	○廃棄物管理状況の把握									
	工務担当	〇産業廃棄物管理票の交付・管理									
	(作業所担当)	〇その他関係する事項									

廃棄物管理組織図



産業廃棄物処理計画書内訳(前年度(

2023

年度)実績)

							一次/人帳/			(単位:トン)
産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関 する事項	自ら行う産業廃棄物の再 生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中 間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋 立処分又は海洋投入処 分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を 行った量	自ら中間処理 により減量し た量	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
ガラス・陶磁器くず	36.7					36.7	0.2	11.6		
廃プラスチック	37.0					37.0	5.0	27.2		
金属くず	3.8					3.8	0.6	3.8		
紙くず	12.4					12.4	0.8	7.9		
木くず	33.3					33.3	12.1	33.3		
石膏ボード	24.0					24.0	3.0	16.7		
建設汚泥	0.0					0.0	0.0	0.0		
安定型混廃	0.1					0.1	0.0	0.0		
管理型混廃	31.3					31.3	5.3	25.1		
がれき類	8.4					8.4	7.5	0.7		
繊維くず	0.0					0.0	0.0	0.0		
コンクリートがら	0.0					0.0	0.0	0.0		
合 計	187.0					113.3	29.4	87.4		

産業廃棄物処理計画書内訳(今年度(

2024 年度)目標値)

(単位:トン)

										(単位:トン)
産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関 する事項 自ら行う産業廃棄物の再 生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中 間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋 立処分又は海洋投入処 分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を 行う量	自ら中間処理 により減量す る量	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う量	全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
ガラス・陶磁器くず	35.6					35.6	1.8	14.8		
廃プラスチック	35.9					35.9	1.8	29.9		
金属くず	3.7					3.7	0.2	3.7		
紙くず	12.1					12.1	0.6	8.9		
木くず	32.3					32.3	1.6	32.3		
石膏ボード	23.3					23.3	1.2	18.5		
建設汚泥	0.0					0.0	0.0	0.0		
安定型混廃	0.1					0.1	0.0	0.0		
管理型混廃	30.3					30.3	1.5	27.3		
がれき類	8.1					8.1	0.4	1.4		
繊維くず	0.0					0.0	0.0	0.0		
コンクリートがら	0.0					0.0	0.0	0.0		
合 計	181.4					181.4	9.1	136.8		